

千葉大学 アセスメント・チェックリスト（部局・教育課程レベル）

部局・教育課程名 : _____
実施年度 : _____
実施組織 : _____

第一部：部局・教育課程の強み（より高きものをめざして）

- ・内容は、簡潔な箇条書きで構いません。
- ・一部の回答は前年度と同様でも問題ありませんが、変更の有無の確認を行って下さい。
- ・可能な限り具体的な取組や成果、数値に基づき記載して下さい。
- ・各種調査・アンケートを参考にした場合は、根拠となる調査・アンケート名とその内容を記載して下さい。

1. 部局・教育課程のミッション・教育方針

ミッション・教育方針を記載して下さい。

2. 部局・教育課程のミッション・教育方針の実現に向けて

A) 上記のミッション・教育方針に照らし合わせて、特長ある優れた教育活動について記載して下さい。

B) 上記のミッション・教育方針に照らし合わせて、昨年度の教育活動を振り返り、より良くしたいと感じている点を記載して下さい。

註：第二部の必須項目についての記載は不要です。

3. より高きものをめざす、今後の目標

上記2. A)、B)の中から、次のアセスメント期間で取り組む目標を記載して下さい。

註：教育課程の構成及び学修成果の可視化に係る全てのステークホルダーの評価・満足度も観点の一つとして記載して下さい。

第二部：確実に達成すべき項目（大学評価基準）

- ・各項目について、根拠資料等を元に点検を行い、問題ないと考えられる場合には✓を記入して下さい。また、その判断理由を簡潔に記載して下さい。
- ・課題がある・改善を計画している場合には、チェックを埋めず、その理由を記載して下さい。
- ・例示しているもの以外に根拠資料等を追加した場合は、根拠資料欄に記載して下さい。
- ・各種調査・アンケートを参考にした場合は、根拠となる調査・アンケート名とその内容を記載して下さい。

- 科目レベルのアセスメントを実施した。

特記事項

- 教育課程の編成が、体系性を有している。[分析項目 6-3-1]

判断の理由	根拠資料
	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマップ ・カリキュラムツリー

- 学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われている。[基準 6-5]

- ・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われている。
- ・学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われている。
- ・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施している。
- ・障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えている。

判断の理由	根拠資料
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎資料①学生の在籍状況 （学生数、社会人学生数、留学生数、休学者数、留年者数、退学者数） ・基礎資料②学生相談の実績 ・基礎資料③標準単位未修得状況 ・基礎資料④GPAの分布状況

- 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認している。[分析項目 6-6-3]

判断の理由	根拠資料
	基礎資料⑤GPCA

- 学部・研究科等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学修成果が得られている。[基準 6-8]

判断の理由	根拠資料
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎資料⑥標準修業年限内の卒業（修了）率 ・ 基礎資料⑦「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率 ・ 基礎資料⑧資格取得状況 ・ 基礎資料⑨就職率及び進学率の状況・主な進学／就職先 ・ 基礎資料⑩学会発表・論文発表数

- 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっている。[基準 5-3]

判断の理由	根拠資料
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎資料⑪入学定員充足率・収容定員充足率

第三部：継続的改善のための考察と自己評価

- ・内容は、簡潔な箇条書きで構いません。
- ・過年度のアセスメント・チェックリスト等を確認して下さい。

1. 部局・教育課程における、教育方針（学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針を含む）について将来的な変更が必要か、分析して下さい。
2. 昨年度のアセスメントで課題となった点(第二部)について、改善の取組み内容と今後の展望を記載して下さい。(アセスメント以外の自己点検・評価や外部評価による指摘事項を含む)
3. 昨年度に目標とされた点(第一部)について、推進の取組み内容と今後の展望を記載して下さい。
4. 総合評価：
尺度：
S：第二部(確実に達成すべき項目)が全て達成されたうえで、昨年度、第一部に掲げた目標に取組み、効果・成果が得られている。
A：第二部(確実に達成すべき項目)が、全て達成されている。
B：第二部(確実に達成すべき項目)に改善が見られるものの、全ての項目が達成されてはいない。
C：第二部(確実に達成すべき項目)に改善が見られない。